

2026年4月24日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

若年者における大動脈弁・僧帽弁形成術の早期・中期成績

研究の概要

【背景】

心臓の弁（血液の流れを調整する構造）に障害が生じる弁膜症は、高齢者に多い病気として知られていますが、小児期から若年期にも発症することがあります。若年者では将来にわたる生活の質や長期予後への影響が大きく、最適な治療法の選択が重要となります。

弁膜症の外科治療には、自己の弁を修復する「弁形成術」と人工弁に置き換える「弁置換術」がありますが、若年者においてどちらの治療がより適切かについては十分な検討がなされていません。

【目的】

本研究では、40歳以下の患者さんに対して行われた弁形成術および弁置換術の治療経過を比較し、若年者における最適な手術方法を探索することを目的としています。

【意義】

本研究により、若年者の弁膜症に対する手術治療の安全性や長期的な治療成績に関する知見が得られ、将来の診療の改善につながることを期待されます。

【方法】

長崎大学病院において、1999年4月から2025年12月までに弁膜症の手術を受けた40歳以下の患者さんの診療録（カルテ）情報を用いて、手術後の経過を解析します。

本研究は既存の診療情報のみを使用し、新たな検査や治療は行いません。

対象となる患者さん

以下に該当する患者さんが対象となります。

- 1999年4月から2025年12月までに長崎大学病院で心臓弁膜症の手術（弁形成術または弁置換術）を受けた方
- 手術時の年齢が40歳以下の方

以下の患者さんは研究の対象外となります。

- 診療録（カルテ）より手術後の情報が得られない方

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

本研究では診療録より以下の情報を収集します。

- 年齢、性別、身長、体重などの基本情報
- 既往歴、併存疾患
- 手術に関する情報（手術日、手術方法など）
- 心臓超音波検査などの検査結果
- 手術後の経過（通院状況、再治療の有無など）

※本研究では新たに採血や検査を行うことはありません。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日／提供開始予定日

本研究は 2026 年 5 月 1 日より、研究に用いる情報を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

| | |
|--|--|
| 研究機関長の許可日～2027年3月31日 | |
| 研究実施体制 | |
| 研究責任者 | 所属：長崎大学病院 心臓血管外科 氏名：田倉 雅之 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7307 |
| 情報の管理責任者 | 長崎大学病院 病院長 |
| 問い合わせ先 | |
| 【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 心臓血管外科 田倉 雅之 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7307 FAX 095 (819) 7311 | |
| 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く) | |